

## 第2回県女子クラブ対抗競技大会

Aクラス OUT→IN

時間	選手(クラブ)	久我喜枝美 (鹿沼B)	中井 明美 (塙原)	蓮実志津子 (アローエース)
1 8:00	村上 美佳 (東松苑)	小林 水幸 (あさひヶ丘)	八木 珠恵 (東松苑①)	青木ふみ枝 (杉ノ郷)
2 8:10	森田 洋子 (アローエース)	高野 裕子 (鹿沼A)	猪野 明子 (宇都宮)	西崎 純里 (鹿沼プレミア)
3 8:20	長谷川弘恵 (東松苑②)	高野 裕子 (鹿沼A)	秋山 ミイ (芳賀)	西崎 純里 (鹿沼プレミア)
4 8:30	利根川チネ子 (唐沢)	芝田 秀子 (鳥山城)	猪野 明子 (宇都宮)	秋山 ミイ (芳賀)
5 8:40	畠井千代子 (鹿沼B)	成子 郁江 (鬼怒川①)	水沼扶美子 (鹿沼②)	登山由里子 (小山)
6 8:50	長 江身子 (鹿沼A)	沓掛恵美子 (那須)	水谷 朱実 (鹿沼A)	伊藤 陽子 (鹿沼B)
7 9:00	篠原かおり (鹿沼B)	高田 珠実 (あさひヶ丘)	香 東條 香 (鹿沼プレミア)	斎藤 康子 (鬼怒川)
8 9:10	小森 幸恵 (NSA J)	中 麻里 (東松苑①)	横澤 信子 (唐沢)	柏木 恒美 (鹿沼②)
9 9:20	薄井 孝子 (鹿沼原)	松本たけ子 (杉ノ郷)	阿久津礼子 (鳥山城)	川村 玲 (小山)
10 9:30	西巻美佐子 (アローエース)	今枝 好美 (東松苑②)	佐藤 光子 (宇都宮)	白石 幸子 (那須)
11 9:40	熊沢 悅子 (アローエース)	杉山 美紀 (鹿沼A)	皆川三代子 (芳賀)	—

Bクラス IN→OUT

時間	選手(クラブ)	角田 里子 (鹿沼A)	阿相ひとみ (鳥山城)	山田 秀子 (鹿沼B)
1 8:00	佐藤 香織 (アローエース)	田島 緑 (東松苑②)	井上 祥子 (唐沢)	半田 朋子 (鹿沼②)
2 8:10	井上 道子 (あさひヶ丘)	桐山 美佐枝 (東松苑①)	関谷 弘子 (那須)	—
3 8:20	長谷川未千代 (アローエース)	坂田いづみ (宇都宮)	河合 菜子 (鹿沼プレミア)	斎藤 早苗 (鬼怒川)
4 8:30	石井 益子 (鹿沼)	坂田いづみ (宇都宮)	田澤 雅子 (鹿沼プレミア)	—
5 8:40	村山 京子 (NSA J)	田中奈津子 (杉ノ郷)	宇梶 敦子 (芳賀)	—
6 8:50	遠山 聰子 (鹿沼B)	島先加奈子 (小山)	古橋 愛子 (アローエース)	馬場 英花 (唐沢)
7 9:00	奥田美佐子 (アローエース)	中村 和歌子 (杉ノ郷)	小松 美香 (鹿沼)	小田倉富士子 (芳賀)
8 9:10	石島 尚子 (鹿沼)	齊藤 和代 (東松苑②)	山本 智美 (鹿沼B)	入江 美幸 (小山)
9 9:20	藍葉里由利 (NSA J)	杉本 典子 (鹿沼プレミア)	鵜塚美佳子 (鳥山城)	渡辺 逸未 (那須)
10 9:30	飛高佐江子 (鹿沼B)	大崎由里香 (東松苑①)	川田美佐子 (鹿沼プレミア)	—
11 9:40	近藤 幸季 (あさひヶ丘)	鈴木 郁子 (鹿沼A)	山中 恵子 (宇都宮)	阿久津ちえみ (鬼怒川)

アローエースGC距離表  
(単位:ヤード)

Hole	Par	Aクラス	Bクラス
1	4	318	362
2	3	138	138
3	4	338	360
4	4	321	321
5	5	460	524
6	4	281	307
7	3	134	164
8	4	247	271
9	5	444	500
36	2,681	2,947	—
10	5	482	482
11	4	281	347
12	3	133	150
13	4	304	324
14	4	333	370
15	4	296	296
16	5	444	493
17	3	130	130
18	4	339	358
36	2,742	2,950	—
72	5,423	5,897	—



優勝チームに贈られる大型カップ

鹿沼GC A、連覇照準  
対抗は昨年準V 那須GC

## 大会展望

県内女子トップアマが所属ゴルフ場の名前を懸けて団体戦で争う「第2回県女子クラブ対抗競技大会」(県ゴルフ場協議会、県ゴルフ場支配人会主催)が14日、矢板市のアローエースGCに18クラブ22チームが参加して開催される。県内ゴルフ界の活性化を目的に、県ゴルフ場協議会と県ゴルフ場支配人会が春に女子、秋に男子の大会を主催する。昨年4月の第1回大会は大方の予想通りに鹿沼GC・

Aが初代女王に輝いたが、連覇を阻止するクラブが現れるのか興味は尽きない。2018年10月に設立された「県ゴルフ振興基金」を活用して開催される。同様の大会は関東ゴルフ連盟が主催する「関東俱楽部対抗」が毎年春に開催され、県内でも予選が行われているが、新たな大会として誕生した。

1チームの選手数がA、Bクラス各2人の計4人と、男子(A、B、C各2人

の計6人)よりも少ない。一つのゴルフクラブから複数チームのエントリーが可能で、今回も鹿沼GC、東松苑GC、鹿沼プレミアGC、鷹GCが各2チーム出場する。学生と未成年者は参加できないが、「関東俱楽部対抗」は正会員が絶対条件なのに對し、各クラブに6ヶ月以上所属していれば正会員、平日会員のほか年次会員なども出場できる。

(井上孝男)

## 鹿沼GC A、連覇照準

## 対抗は昨年準V 那須GC

連覇を狙う鹿沼GC・Aが頭一つ抜けている。昨年は2位に12打差をつける圧勝だった。

鹿沼GC・Aは関東女子シニア3連覇の実績を誇る角田里子と、2016年関東俱楽部対

抗個人戦優勝の鈴木郁子の二枚看板、がチームを引っ張る。2選手は過去10回開催されている県ダブルスで6度女王に輝いている。さらに昨年Aクラス個人で2位に食い込んだ水谷栄実が加わってい

るだけに、連覇は濃厚だ。昨年2位の那須GCは昨年3位のアローエースGCも有力だ。第15回県女子社会人アマ(19年)で2位となつた佐藤香織を筆頭に、県大会上位常連の鷹澤悦子、古橋愛子と駒をそろえる。地元の利を生かしたいところだ。

NSA J(ニューセントアンドリュースGCジャパン)も上位進出が有力視される。県知事盃一般女子の部で2度の優勝を誇る小森幸恵を中心とした安定感のあるメンバーがそろった。

このほかではベテラン秋山ミイを擁する芳賀CC、昨年6位のメンバー村上美佳、遠山聰子、飛高佐江子をそろえる鷹GC・Bなども期待される。

■競技方法 ■ 1チーム4人編成の18ホールストロークプレー。第1回大会はAクラスが50歳以上だったが、今回からは55歳以上となった。Aクラス(1967年12月31日以前生まれ)、Bクラス(20歳以上)の各2人の計4人で、上位3人の合計スコアで競う。Aクラス(5423ヤード、パー72)、Bクラス(5897ヤード、パー72)はそれぞれのティーを使用する。上位10チームのほか、各クラスの上位5人を個人入賞者として表彰する。個人戦はタイの場合、プレオフは行わずマッチングスコアカード方式で順位を決める。

■競技方法 ■ 1チーム4人編成の18ホールストロークプレー。第1